

オアソ

医療法人
悠水会
季刊誌

平成29年1月発行
第17号

タイトル「オアソ」は創刊するにあたり、職員より募集し、数ある作品の中から決定しました。エスペラント語（世界共通語）で「オアシス」の意味です。



新年のご挨拶



(医)悠水会 理事長
岡部 孝熙

皆さん、あけましておめでとうございます。

昨年より1病棟の医療病棟転換に向けて病院内一丸となつて進めてまいりました。おかげさまでこの2月より、1病棟は医療病棟（療養病棟入院基本科2）となる予定です。この場をお借りして皆さんにお礼を申し上げます。そして1病棟は2A病棟や2B病棟のような医療病棟（療養病棟入院基本科1（医療区分2、3が8割以上））をめざして進めてまいります。

さて、本年当法人は創立60周年を迎える記念すべき年です。振り返ればあつという間の60年間であり、大きく3つに分けられます。はじめの20年は、私の父が開院してから現在の医療介護を備えた病院を目指すまでの期間。そして次の20年が、なんでも受けま

の、多くは比較的軽度の方の入院でゆつたりとした時間が過ぎて行つた、思いで多い昭和の時代。最後は平成に入り介護保険制度が始まって、居宅サービスやサ高住が時代と共に創設され、入院も重度の方の方が大多数となり現在に至る20年です。

これからの当法人は、大きな医療改革を目前に、入院だけでなく在宅におられる方々との関わりも多く持ち、①急性期医療の後方支援機能②強力なりハビリテーション機能③急性期入院医療までが必要としないが在宅や介護施設において症状の増悪した状態の方に対して必要な医療を提供する機能（サブアキユート機能）④重度慢性期の方に医療・介護を提供する機能⑤在宅支援機能⑥がん患者支援機能⑦認知症治療機能⑧終末期の看取り機能 以上の機能を十分に発揮して、地域の方々の役に立つ存在になつていきたいと考えています。

最後に今年一年間も事故のないよう心を引き締めていきましよう。
本年もどうぞよろしくお願ひします。

看護部の取り組み

看護部長 池田 良子

謹んで新春のお慶びを申し上げます

当院の運営におきましては、平素よりご支援ご協力を賜り厚く御礼申



し上げます。

昨年は豪雨や地震、噴火等の災害が多く発生しました。被害情報が届く度に、大変に心痛い思いをいたしました。何事もなく当たり前に暮らせる日常が、いかに尊いものであるのかと、改めてそのありがたさを感じました。今年はどうか平穏に過ごせますようにと祈るばかりです。

人は誰もが安心して暮らせる環境を願っています。患者様やご家族の皆様におかれましても、思いや要望も様々ですが、安心して任せられる医療や看介護を提供してほしいと願っておられることでしょう。その要望に応えるためには、安全で思いやりのある療養環境を整えることが必要で、更なる知識、技術及び応対接遇力の向上が求められます。そこで昨年春から次の二つを掲げ各病棟ごとに取り組んでまいりました。

○個々を尊重した優しく丁寧なケアを提供すること ○教育の充実

業務に追われるのではなく、「患者様への声かけを多くしましょう」「患者様にしっかりと向き合いたしましょう」と、基本的なことの見直しを始めました。

ここ数年、診療報酬の改定や2018年度の医療介護の同時改訂を見据え、当院も医療療養型の病院とはいえ、いくつも合併症を持った方等、医療度が高い患者様を受け入れ、社会情勢の変化に対応すべく改革に取り組んでいるところでです。

以前より急な入院の受け入れやベッド調整のための転棟、計画書等の書類の整理など業務が複雑化してきています。このような状況の中にあっても、その時々を大切にに関わり、優しい一言と行為をもって「人としての尊厳」を大切にする土壌を醸成していきたいと思っています。

プロの一員としての自覚をもって、今年も引き続きスタッフ一同努力して参ります。

皆様、どうぞご支援の程よろしくお願い致します。

写真は10月に石川県で開催された慢性期医療学会での発表の様子です。他所の取り組みも沢山学んで帰って参りました。皆で共有し業務に活かしていきたいと思っています。

第24回

日本慢性期医療学会

In 金沢

慢性期医療と創る未来

— 医療・介護とまち・ひと・しごと —

2016. 10.27(木)-28(金)

会場 石川県立音楽堂 ホテル日航金沢

学会長 仲井 培雄
星薬法人社団和南に 芳雄記念病院 理事長

副学会長 宮崎 俊聡
特定医療法人星野会 理事長、南ヶ丘病院 院長

菊地 勤
医療法人社団博友会 金沢西病院 理事長

ひやくまんさん
石川県看護協会 会長

インフルエンザについて

医師 平山 八郎

■インフルエンザの種類

インフルエンザウイルスによって引き起こされる急性感染症で、季節性インフルエンザには、A型、B型、C型の3種類があります。全ての年齢層に対して感染し、世界中で繰り返し流行しています。特にA型は流行を繰り返す度に変異株が発生します。

①インフルエンザA型

38℃以上の高熱、悪寒、関節・筋肉痛などが特徴。多くの変異株が存在し、増殖力が速く、感染力が強いので流行しやすい。

②インフルエンザB型

A型に次いで流行しやすいウイルス。A型のような突然変異をおこさないため、世界的な大流行を起こすことはない。

③インフルエンザC型

感染しても風邪程度の症状で、多くの人が免疫を持っている。

■流行時期

日本などの温帯では、季節性インフルエンザは冬季に毎年のように流行しています。通常、11月下旬から12月上旬頃に最初の発生、12月下旬に小ピーク。学校が冬休みの間は小



康状態で、翌年の1～3月頃にその数が増加しピークを迎えて4～5月には流行が収まるパターンが多いようです。ただし、冬季だけに流行する感染症ではなく、夏期にも流行する事があります。

■感染経路

感染経路は咳やくしゃみなどによる飛沫感染が主で、一般的には経口・経鼻で呼吸器系に感染します。

■インフルエンザの感染力など

インフルエンザの潜伏期間は1～2日で、発症の1日前から発症後5～7日頃まで周囲の人にうつす可能性があります。特に発症日から3日間ほどが最も感染力が高いと考えられています。さらに、熱が下がってもインフルエンザの感染力は残っていて、他の人に感染させる可能性が

あります。（個人差はありますが、熱が下がって2日間は感染させる可能性があります。）

■インフルエンザの症状

風邪とは異なり、比較的急速に出現する悪寒、高熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛を特徴とし、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、咳、痰などの気道炎症症状を伴います。腹痛、嘔吐、下痢といった胃腸症状を伴う場合もあります。主要な合併症として肺炎とインフルエンザ脳症です。潜伏期間は1～2日が通常ですが、最大7日までです。

■インフルエンザの予防

日常生活の注意など

一般的な予防方法としては、日常生活上の注意と予防接種です。免疫力の低下は感染しやすい状態を作るため、偏らない十分な栄養や睡眠休息を十分とることが大事です。これは風邪やほかのウイルス感染に関しても非常に効果が高いのとことです。

インフルエンザは咳、くしゃみ、つば等のしぶきと共に放出されたウイルスを、鼻腔から吸入することによって感染します。インフルエンザを拡散させないためにも、患者・周囲の人が共にマスクを着用することが効果的です。

マスクは確実に着用しましょう。

手洗いも重要です。飛び散ったインフルエンザウイルスが付着したものを手で触ると、鼻や口、目、肌などを介してインフルエンザに感染することがあります。

手洗いが感染を防ぐ上で有効なのはそのためです。

換気をまめに行うことも大事です。（換気、空気清浄機など）

空気が乾燥すると、喉の粘膜の防御機能が低くなるため、インフルエンザにかかりやすくなります。乾燥しやすい冬の室内では、加湿器などを使って50～60%の湿度に保つことも効果的です。

また、感染の可能性が考えられる場所に長時間いることを避ける必要があります。予防に使用したマスクは速やかに処分する事です。

かかったかなと思ったら早期の検査、投薬が必要です。内服は決まった投薬方法、期間を守りましょう。



リハビリスタツフブログと短時間通所リハビリのご紹介

リハビリテーション科 理学療法士 主任 小嶋 珠美

インターネットや携帯電話、スマートフォンの普及により、ブログやフェイスブック、ツイッター等のいわゆるSNS（ソーシャルネットワークサービス）が重要な情報発信、手段として広がっています。当

リハビリテーション科は、より多くの地域の皆様に水城病院リハビリテーション科の活動を知っていただく方法の一つとして、平成28年7月より積極的に情報を発信していく目的でブログを開致しました。

リハビリテーション科スタツフブログは水城病院のホームページとリンクさせていますので、ホームページから見るができます。

月に2回以上の更新を予定しており、外来リハビリ・短時間通所リハビリの紹介、作業活動での患者様の作品の紹介、リハビリスタツフによる季節感のある行事の様子、リハビリスタツフの紹介、地域健康教室風景等の内容をブログ担当スタツフが交代で投稿しています。

当院のリハビリテーション科は創設30年近く経ちますが、リハビリスタツフの院内外での活動や、病院でどんな仕事をしているか、何人のス

タツフがいるのか等は地域の方々に意外と知られていないことが多いため、これを機に水城病院とリハビリテーション科のことを知っていただくのと嬉しく思います。

初回の投稿には、リハビリスタツフ総勢24名の写真も載せていますので、興味がありましたら、是非一度リハビリテーション科スタツフブログの方を覗いてみてください。

敬老会の様子

1病棟



御家族の参加も多く昔の思い出話、懐メロイントロクイズ、百歳を超える患者様の紹介や職員によるソーラン節を行いました。笑顔あり、手拍子あり、の楽しい時間を過ごしました。

2病棟



今年はオリンピックの年でもあり、2病棟の敬老会はメダルをかけた風船バレー（2A病棟対2B病棟）を行いました。

患者さんは手足を使つて必死に取り組まれていました。

勝ったチームも負けたチームも楽しんでいただけたようで、皆さん笑顔で終わることが出来ました。

3病棟



今年の敬老会は100歳を迎えた患者様の表彰や、力キ氷の早食い競争、炭坑節を踊りました。炭坑節は皆様口ずさんで下さり、笑いあり、歌ありの楽しい時間を過ごす事が出来ました。

また、投稿して欲しい内容がありましたら、いつでもお声掛けください！
また、平成26年4月1日より、短時間通所リハビリ（1時間以上2時間未満）を開設いたしました。場所は本館2階のリハビリ室にて、月々（祝日除く）9時～12時の間の90分間が利用時間となっています。短時間通所リハビリは、送迎付きで、介護保険を利用して外来リハビリと同じ感覚でリハビリができるサービスとなっております、従来からある4時間以上6時間未満、6時間以上8時間

間未満の通所リハビリとは違い、食事やレクリエーション等はなく、リハビリだけを受けたい方にお勧めです。利用者の対象は、要支援1～要介護3の自立度が高い方としています。平成30年には、要介護者は医療保険でのリハビリが受けられなくなる為、現在少しずつこの介護保険での短時間通所リハビリの方へ利用を切り替えている方も多くなつてきています。気になる方は、パンフレットも準備していますのでご覧ください。

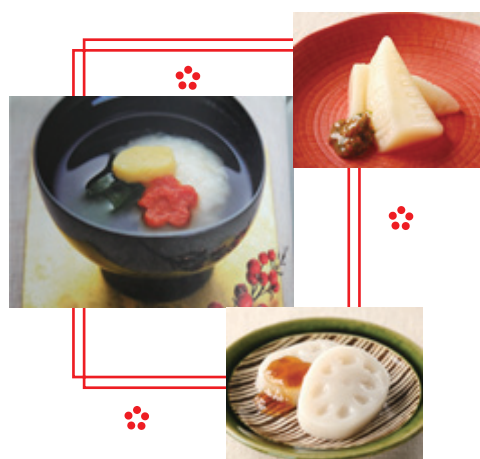
※ 嚥下障害がある人でも食べられるおせち料理

栄養科 野中 文恵

※ 嚥下機能が衰えると、食べ物を咀嚼し飲み込む機能が低下します。このように咀嚼や飲み込みが困難になると、十分な栄養を取ることが出来ず、栄養不足を招くことになりかねません。

おせち料理のがめ煮に入る鶏肉、ごぼう、れんこん、コンニャク。お雑煮に入るお餅、蒲鉾など噛みにくく、飲み込みにくい食材がたくさん使用されています。

嚥下に障害があるからといって食べられないものが多い、毎日刻み食やミキサー食など誤嚥しない為の食事だけでは食欲が減退する方もいる



かもしれない。お正月など、特別な日はいつもとは違い、野菜などの形はそのまま舌で押しつぶすことができる見た目を重視した商品を使用してはいかがでしょうか？食欲がわく工夫をしてみてもいいかもしれません。

お雑煮は美味しく食べるためにダシをしつかりとれば、食べられる食材が限られていても満足感があります。調理をされる方はより柔らかく黒豆を煮たり、なますを塩もみではなく柔らかく茹でて調味するだけでも食べられる料理が広がると思います。

嚥下障害がある方は、飲み込みやすくするポイントとして、口の中でばらけずにスミーズにのどを通る工夫が必要です。

① 適度な水分を含ませる。
例) パンをスープに浸して食べる。パン粥にする。



② ツルンとさせる。
例)ゼリーなど、ゼラチンで固めると口の中でばらけず、のど越しが良い。



③ 油脂やつなぎでまとめる。

例) マヨネーズやドレッシングで食材をまとめます。加熱前のひき肉に卵や小麦粉のつなぎをまぜて調理すると良い。



④ とろみをつけてばらけるのを防ぐ。
例) 食材にあんをかけて、口の中でばらけるのを防ぐ、のど越しも良くなる。

⑤ サラサラした液体にはとろみをつける
例) お茶などの液体にはとろみをつけてムセを防ぐ。

しかし、最近、ムセることが多くなった、食事が減った、体重が減ったなど誤嚥を疑う危険なサインを在宅での介助者や、ご本人様が気になつている場合は、病院にご相談下さい。

※ 嚥下...モノを飲み込み、胃に送ること。



新年あけましておめでとございます。
お正月はいかがお過ごしでしたでしょうか？
年明けての七草は食養生にぴったりのようです。
ぜひ実践してみてください。
さて、今年はどんな年になるのでしょうか。
震災や事件など心痛める出来事が多いですが、
できれば明るく元気に過ごせる一年になったら
いいなと思います。
皆様の一年がまた豊かでありますように



編集後記

広報委員
納身 布規子

医療法人 悠水会

理 念

地域の皆様に良質な医療・介護を通じ、
「安心」と「満足ある人生」が感じられるよう貢献します。

基本方針

1. 私たちは、地域の皆さまにトータルサポート
が出来るよう積極的な貢献に励みます。
2. 私たちは、常に向上心を持ち、良質な医療
介護を提供出来るよう努力し続けます。
3. 私たちは、地域におけるニーズを敏感に感じ
とる努力を怠らないようにします。
4. 私たちは、常に謙虚で、相手の立場に立ち、
個人の価値を尊重する行動に努めます。
5. 私たちは、ここに集う人々が安らかな心で
おおらかに生き、満足ある人生が感じられる
よう貢献します。
6. 私たちは、仕事に誇りを持ち、皆様に喜び
(満足)を提供します。



水城病院

〒818-0104
太宰府市通古賀3丁目10-1
TEL 092(922)2050
FAX 092(921)2099

みずきケアプランサービス

〒818-0104
太宰府市通古賀3丁目9-13
TEL 092(922)2051
FAX 092(928)5467

みずき訪問看護ステーション

〒818-0104
太宰府市通古賀3丁目9-13
TEL 092(922)2050
FAX 092(922)2962

みずきヘルパステーション

〒818-0104
太宰府市通古賀3丁目9-13
TEL 092(922)2050
FAX 092(922)2962

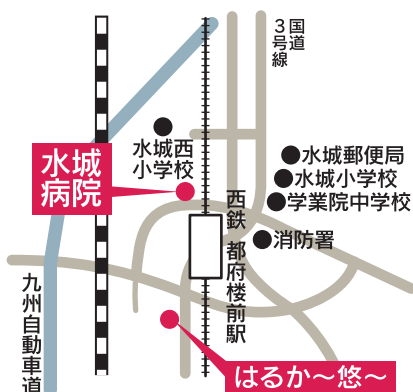
みずき指定通所リハビリセンター

〒818-0104
太宰府市通古賀3丁目10-1
TEL 092(922)2050
FAX 092(922)2118

みずきデイサービスセンター

〒818-0104
太宰府市通古賀3丁目19-3
TEL 092(928)7005
FAX 092(928)7029

サービス付き高齢者向け住宅
はるか～悠～
はるかヘルパステーション
〒818-0104
太宰府市通古賀4丁目7-10
TEL 092(918)4722
FAX 092(918)4733



URL <http://www.mizuki.or.jp>

住所 〒818-0104
太宰府市通古賀3丁目10-1

TEL 092(922)2050

FAX 092(921)2099

診察受付時間

午前診療 9:00～12:00(月曜日～土曜日)

午後診療 13:30～17:00(月曜日～金曜日)

休 診 日

日曜日、祝日、8月13日～15日、
12月30日午後、12月31日、1月1日～3日

